



榎 玲奈

射水ケーブルネットワーク株式会社

制作部制作課

(社会人2年目)

【取材日：2026.1.13】

現在のお仕事について教えてください

ケーブルテレビの制作部で番組制作の企画・構成、原稿、撮影、編集、ナレーションを1人で出来るように頑張っています。普段は地域ニュースの取材・撮影と編集をメインに地域の方とコミュニケーションを取り正しい放送、地域の方に楽しんでもらえる放送を意識しています。

富山大学で学ぶきっかけ

高校2年生の時、富山大学の芸術文化学部で地域や伝統芸能について学べるコースがあると知り、興味を持ちました。実際に高岡キャンパスを訪れ、地域キュレーションコースで学ぶ先輩の話聞いて「ここに行きたい!」と強く思いました。大学祭やミラレ金屋町を見に行き、楽しそうに活動に携わる学生を見て、憧れました。

フィールドワークで磨いた「聞く力・伝える力」

富山大学に入学し、芸術文化学部の学生の個性の豊かさに圧倒されました。個性をお互い認め、自由にやっっていく校風で楽しく学べました。島添貴美子教授の研究室に所属し、地元である放生津八幡宮秋季大祭を論文のテーマにしました。幼い頃からお世話になっていたご近所の方や、昔のことをよく知る人にインタビューをし、まとめて誰かに伝える楽しさを知ることができました。

Profile

富山県出身。富山県立新湊高等学校出身。
2020年、富山大学芸術文化学部芸術文化学科地域キュレーションコースに入学。島添貴美子教授の研究室で地元・新湊の放生津八幡宮秋季大祭について研究した。学業の傍ら、小学生から続けているバスケットボールに母校の高校で指導のサポートで関わり、縁を大切にしてきた。2024年4月、射水ケーブルネットワーク株式会社に入社。番組制作に携わっている。

地元の魅力を伝える仕事に

心の中のどこかで、ずっと「地元の良さを伝える仕事が見たい」と思っていました。大学3年生のときに地元をロケ地にした映画の撮影があり、地域スタッフとして関わりました。その場に射水ケーブルネットワークが取材に来ていました。仕事の話をして、「ここなら地域の魅力発信ができる」と感じ、入社を決めました。

仕事の中で実感する「ご縁」

先輩方の指導を受け、地域の輝いている人や団体を紹介する5分番組を制作しています。これまでに、バスケットボールでお世話になった指導者の方や、母校の読み聞かせボランティアの方に、取材をしてきました。幼い頃から今まで出会った人とのご縁を大切に、番組制作をしています。何よりもうれしいことは番組を見た人から「元気もらったよ」と声をかけていただくこと、そこでまた新たなご縁が生まれていくことです。温かい気持ちが広がっていくと嬉しいです。

高校生へのメッセージ

富山大学に入るには試験方法がいくつかあります。ここで学びたいという思いを強く持ち、自分に合った試験方法を見つけ、試験に向けた入念な対策や準備で理想を現実にすることができます。学びたいこと、やりたいことを見つけ、その根本がぶれることの無いよう自分らしく進んでください!